

会 工 同 窓 会 会 報

発 行 所

福島県会津若松市
徒之町1の37

発行人 吉田一栄

昭和六十三年年度総会

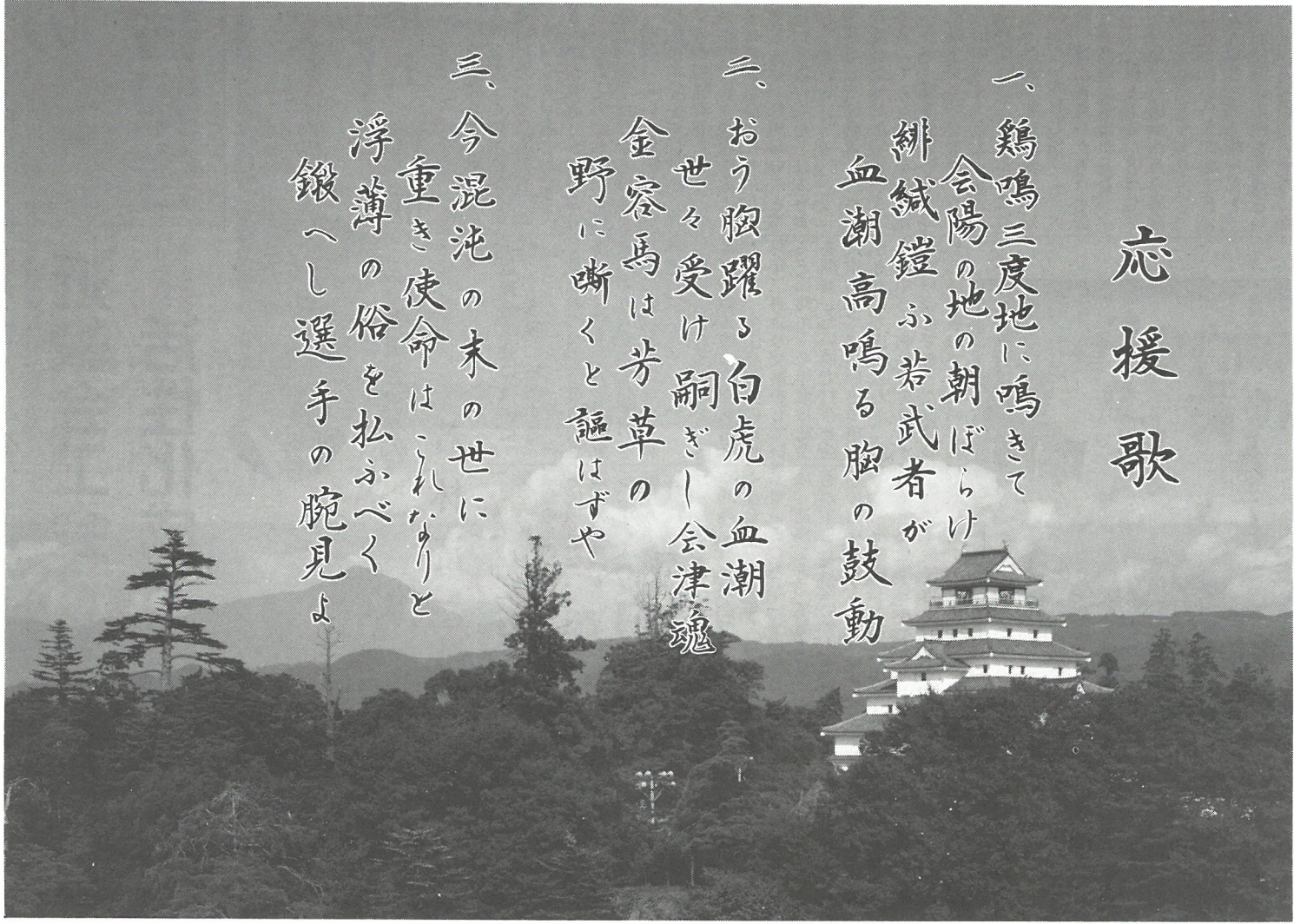
昭和六十三年十月十六日

応援歌

一、鶏鳴三度地に鳴きて
会陽の地の朝ぼらけ
緋絨鎧ふ若武者が
血潮高鳴る胸の鼓動

二、おう胸躍る白虎の血潮
世々受け嗣ぎし会津魂
金容馬は芳草の
野に嘶くと謳はずや

三、今混沌の末の世に
重き使命はこれなりと
浮薄の俗を払ふべく
鍛へし選手の腕見よ



母校に資料館を

会工同窓会会長

吉田 一栄

秋の訪れとともに各地で美術展の催しが盛んで、いままさに美術の秋到来の感がある。

十日ほどまえ、朝日新聞

東京本社のカメラ・マンが来校し、校長室に展示されている相田直彦の水彩画「都の展望」(五十号)を撮影したいという申し入れを受けた。聞くところによると「アサヒ・グラフ」の十月号に美術特集を企画し日本の著名画家八十人のカラー絵画集を出版するとい

う話だった。この「都の展望」は、ひっぱりだこのもてかたで、去年の四月、五月は「水と光との出会い」近代日本水彩画の展開」というタイトルで福島県立美術館で開かれ、二ヶ月間出張出品されたばかりだった。相田直彦は、本校漆工科の卒業で日本水彩画会の創立会員のひとりとして活躍、第三回



ご挨拶

県立会津工業高等学校校長

鈴木 利明

今年の夏は天候不順で、当会津地方は気温も低く、日照時間も短い異常気象でありましたが、同窓会員の皆様には、ご健勝にて、それぞれの仕事にご精励の事と存じます。また、陰に陽に本校の発展充実のためお力添えを賜り、厚く御礼を申し上げます。

本校も明治三十七年創立より満八十四年となり、現在は、繊維工業科、インテリア科、セラミック科、化学工学科、機械科、電気科、電子科、建築科の八学科で一学年九学級、全部で二十七学級、在籍生徒数も千七名を超え、教職員も百十名更に本郷分校定時制窯業科を擁する県内有数の高等学校となっております。卒業生

も一七二九名の多きに達し、県内はもとより、全国更には外国でも活躍しておられること、誠に同慶に堪えます。さて、昭和六十三年十一月には、昭和六十一年度の二年間にわたる情報処理教育研究推進校として県教育委員会より指定を受け、「工業高校における情報処理教育のあり方と実践について」を研究主題として研究発表を行いました。県内より多くの先生方のご参加をいただき、極めて成功裡に終了することができました。

ところで、今年は三年に一度の学校祭である会工祭の年に当たっております。現在いろいろと準備を進めておるところであります。また、九月二十五日には近畿会工会が大阪市で開かれます。そのため席させて頂く予定であります。

また在職された教職員の作品、さらには卒業生が卒業の制作として母校に残されたもの。あるいは、卒業後の作品を寄贈されたもの等々その由来はさまざまですが、いずれにしても八十数年にわたる本校の歴史と実績を示すものに外ならない。しかし、これら収蔵作品の保存管理状況はどうかと

いうとセラミック科とインテリア科の資料室(これとて近代設備とはお世辞にもいえないが)を除いては殆んど放置されている現状で、書なども変色したり、傷ついたり、額縁の破損などといったたいりりだ。前述の相田直彦の松江春次氏、鈴木善九郎氏の肖像画などは変色を取り越して絵の具の欠落がはなはだしく、このままでは顔の判別もできなくなるのではあるまいか。いま修復しなければ、取り次第である。

また今春、福島県立博物館で開催された第三回企画展「福島の顔」に出品された好評を博した坂石文石の額絵「酒盛の図」は、セラミック資料室に保管されている。坂内文広は、陶工を志して本郷の水野家に弟子入りし、かたわら遠藤殿村に画法を学び、会津工業学校窯業科教員として後進としてゆずり受けたもの、

おるところであります。また、今年十月十六日には、会工同窓会総会が会津若松市の萬花楼で午後一時より開催されます。同窓会の役員の方々の並々ならぬお骨折りに深く感謝を申しあげます。

前年の会工同窓会の新聞にも若干ふれたこととありますが、会津方面には、情報技術を本格的に学ぶ学科がありません。福島県の浜通りには平工業高校に昭和四十九年に、中通りの郡山北工業高校には昭和五十二年にそれぞれ情報技術科が設置され、更に昭和六十三年須賀川市に県立清陵情報高等学校が開校いたしました。会津だけ取り残されておるのではありません。そのため昭和六十二年八月に校内

かえしのつかないことになりそう。一刻も早い設備のとのった資料館なり、ギャラリー建設の要望や切である。

以上の展示に加えて、本校の変遷が一目でわかるパネル写真や各種校内出版物の創刊号とか、校歌、校章の由来、変遷、明治時代の学校・学級日誌など現存する限りの往時の遺品をあらわし展示できたらと思う。またこれら資料館の建設と並行して収蔵作品図録など良質紙、オールカラーで製本出版し、世間に公開発表し、これら展示資料を通して本校の歴史を見つめ、数多くの先輩たちの息吹にふれ、その精神を生徒に汲みとってもらうような機会に恵まれば、どのような宝物になるか知れぬと確信する次第である。

同窓会報告

東京会工会长

井上真市

校舎建物坪数 一四九九坪、工費総額 四万八千九百七十七銭というのが学校史年表に記録されている。校舎はすべて平家建てだが、その重ね合わせた校門正正面には、俗に生徒たちが「天守閣」と称した高樓（たかどの）だけが二階建てで屹立していた。

いるが、いまやほとんど校舎は鉄筋混凝土作りになってしまい、味気ないこと夥しいと古い人たちはそうおもっている。

ああした無機質にとりかこまれた精神の行きどころを考えてみたことがあるだろうか。児童生徒はまるで混凝土ブロックで護岸され

「天守閣」は校舎配置の起点であり基点でもあって、学校の象徴の部分でなければならぬ。だからこの一階廊下は「掃除」という名目のほかは職員以外の、つまり生徒の進入は禁制がたてまてあった。いうならば「神聖廊下」ともいうべきふしきな場所なのである。視学官はじめだじな賓客の応接、生徒の賞罰及落の審議などを含む職員会議に使われたのがすべてで、

た川のサカナとえらぶところがない。二十余年も昔になつたが、私は無機質の校舎から「人材」は出てとも「人物」は出にくいだろうと何かに書いた覚えがある。

「人材と人物がどうちがうのか」と訊かれたら即座にこう応えるつもりでいる。

「あったかい人間味を具える人材こそが人物」だと。

旧校舎の正門を爛熳といろどつた桜のころがなつかしい。



活性化成る！

近畿会工会长

若林清二郎

近畿会工会の復興に
復興に感謝する

数年前の会工会員参加者を依頼された。(勿論これ迄に元会長二名の老先輩から、中心人物に復興を呼び掛けた手紙が出されていた。しかし何等の腹案も有るわけ

今年二月初旬のこと、阿藤、藤岡先輩より突然電話があり、会工会復興のため年二月より交渉をしていけると同時に、今年度は総会を開催したいので打合せ会出席してほしいとの電話きたので出席したが、肝心の中心人物は姿を見せずしい会合であった復興のめに十数台でもよい、有

けでなし、ただ京都会津会や関西福島県人会で、先輩や後輩の方に毎年お目に掛っていることが一つの頼りに、連絡をとって見ること

を約束した。幸いにも十数名の方々に快く応じて戴けることを確認できたので、急拠京都会津会（六月十二日）終了後午後三時過ぎに京都祇園ホテルに於て再会



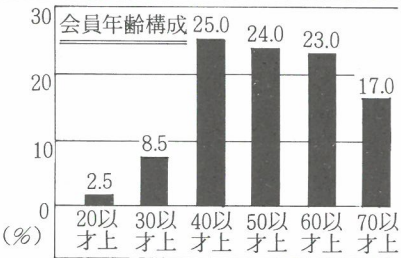
近畿会工会々員

することに決定した。参加者は予想を上回り二十五名に達し、近年にない盛会となった。復興のため活発な意見が交換され、総会の早期開催のため、全会一致で臨時総会とて決議。常任理事を選出、審議の円滑な促進をはかると共に、当分

23.0
17.0

30才以上
70才以上

されて居られる方もあります。このような立派な方々の集団であることに、今更のごとく驚きを感じた次第です。（図参照）



わ、
り、
子
供
も
少
な
く、
特
殊

今や社会構造も大きく変わり、子供も少なく、特殊



会員年齢構成

年齢区分	割合 (%)
20以下	2.5
30以下	8.5
40以下	25.0
50以下	24.0

の間の世話人代表も決定した秋の通常総会に向けて早急に具体案を作成すべく、次回理事會を七月十七日大阪で開催することに決定して大阪での理事會も、参加者二十名で、延々三時間に亘り活発な討議を行い、次期総合の決済を得るため、各候補者の選手を行い盛會裡に終了した。全員熱心な討議に疲れきったか、その後は楽しい宴會を夜の更けりまで続け、団結を誓いあつて散會した。

な仕事や軋動で関西に来る人はあっても、県内か近県に就職、遠くても東京までな時代です。したがって大阪方面に軋動赴任されておられる方があっても、所在が分からない。調査結果若者がいかに大切なうなづけるでしょう。ほんとうに一人の會員が大切である。近畿工会の宝は若者です。

近畿工芸会は
大臣クラス



小使に徹することこそ
会の纏め役



会の目的は親睦が最大の
目的です。従って、老いも

会員の調査をした結果、実に驚いたことで、若者が居らないことで、四十才以上に成られた方が九十％、皆さんが役職者ばかり、勿論、社長、部長、課長である、若い方の中に自営業を営むの方々のご意見を拝聴し

中國旅行記

東海会工 会幹事長

佐瀬一信

相談を受け、共通する話題を取り上げ、実行に結び付ける努力こそ円満に纏める道ではないでしょうか。どうぞ小使いとしてご利用戴きたいものです。今後あなたが会の運営に当られようと、基礎ができればやり易くなるものと思います。運営しやすい組織を作る為により多くの方々のご指導をお願いする次第です。

最後に近畿会工会の復興に当り、先輩の方々の協力と忍耐によるものであり有志の方々のご協力に感謝いたします。

現代の日本人は円高の恩恵に対し健康で銭と余暇さえあれば老若男女が気易く海外旅行を楽しむ事が出来るの波に驚く。翌日は市内

る恵まれた世代に生きてゐることを幸福に思ふ。私もこゝ三年間に中国、東南アジア、欧州を旅行して来た世界の中何処の観光地も日本人で溢れている。海外に目を向ける事は思考力を養い人間を一周り大きくする事に繋がる。例へば最初成田空港に行った時はあまりにも広いのにびびくりしたが今回、モスクワ、パリ、ローマ、ロンドン等の国際空港を見て成田空港に帰国したと、こんなに小さくなったかと錯覚する。又成田空港をジェット機で離陸するの間もなく海岸線や山岳地帯に入る。シベリヤ大平原は数時間飛行しても風景は殆ど変わらない。今回は中国旅行について記してみよう。

中国を旅行したのは一昨年の夏であった。成田空港から北京空港迄は四時間半、北京空港で入国手続を済ませて空港で待機中の日本製の中国バスに乗車する。

中国は夏時間を採用して

観光に入る。故宮内の建物は絢爛豪華な彫刻が多く、六十余体ある。その一つが一米以上の大瓶がある。日本軍が駐紮時代に瓶の金箔を削り取ったと云う。その儘で保存されている。天安門の広場は百万人収容出来る為、赤の広場と共に世界に二ヶ所しかない大集会場である。百万人も集った時の人間の生理現象の処理面として両側通路の蓋を開けて仮設テントを張れば立派な便所になる様に設計されてゐる。北京一の繁華街、王府井の公衆便所に入ったとたんびびくりした。扉がないのである。丸見えである。以後有料便所の世になる。北京市内は二頭立馬車やボンコツ車がわがもの顔で往来し車が優先である北京郊外にある万里の長城は二千五百年前、数百万人の農民が多くの犠牲を払ひ人海戦術で築いた豪華巨大なるもの、月から見える唯

昭和62年度 会工同窓会の歩み

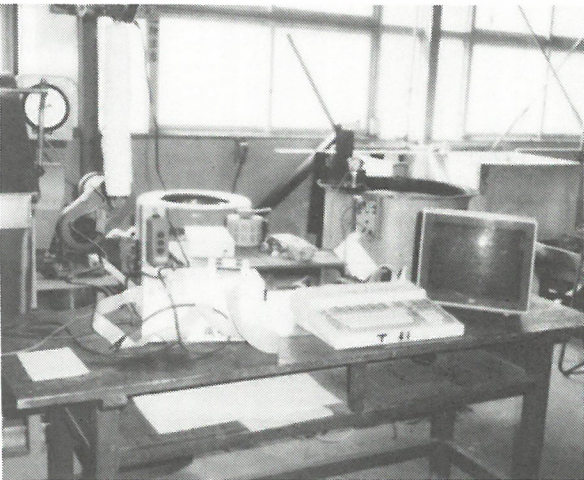
10月18日	会津会工会・会工同窓会総会 於 萬花楼 出席者 八十名 来 賓 井上PTA会長、渋谷元校長 鈴木校長、五十嵐・北原両教頭
62年1月	講演 生涯健康計画について 田崎公明病院長
5月	会津会工会新年会 出席者 七十八名 来 賓 井上PTA会長、渋谷元校長 鈴木校長、五十嵐・北原両教頭
4月	郡山会工会総会 出席者 三十名
3月	東海会工会総会 出席者 三十名 来 賓 片平津会工会副会長、鈴木教頭、小林義雄、小沼岑生
2月	坂下会工会総会 出席者 四十五名 来 賓 北原教頭、小林義雄、太田務 小沼岑生
1月	近畿会工会総会 出席者 四十八名 来 賓 鈴木校長、吉田会長、小林義雄、小沼岑生 近畿会工会々長に若林精二郎氏決まる。

各 科 紹 介

繊維工業科

科長 冠木 明

「古いものと新しいもの」
ここ十年以上、中央でも
会津のあちこちでも、学校
教育やその学習内容につい
ての見直しが必要といわれ
ている。我々会津工業高校
に於いても昔から設置され
ている科の再編成について種
々論議されているが、当織
維工業科では、新時代に生
きる若者の教育をどう考え
たら良いか模索している。
毎回の会工祭に実演製作
される「ゴブラン織」の原
理がコンピュータの元祖で
あることが一般の人には判
らない。色糸がONかOFF
Fかの命令に依って浮き沈
みして模様を表現する方法
は、昔は厚紙に穴を開けて
やったが、今はコンピュ
ータに依る。直織機がそれ。
昔からあるいろいろな技術
を今様に考え、捕えて明日
の社会に生きるに役立つよ
うな指導をしてやりたいと
考えている。

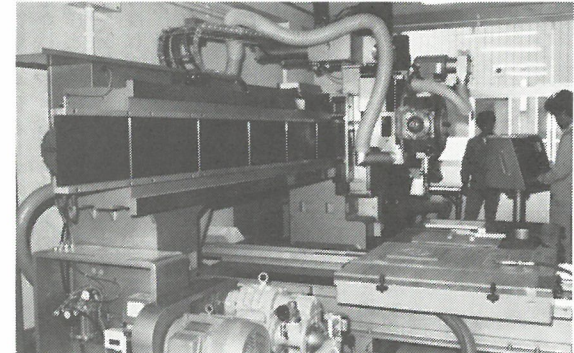


T科 コンピュータ制御実習

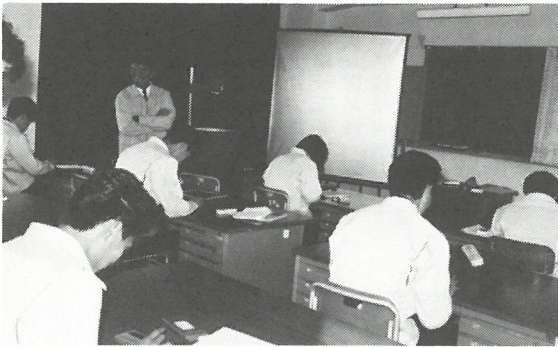
インテリア科

科長 山口 栄一

明治三十七年開校とともに
本校教育発展のため、守り育
てて下さった関係各位の功
績に深く感謝します。
そして昭和六十一年度よ
り「インテリア科」が新設
され、現在の三年生四十一
名の伝統産業発展のための後



In科 NCルータ実習



In科 情報キソボケコン風景

生四十二名、一年生四十三
名、科職員六名で進んでお
ります。
まず教育課程については
インテリアが感性の問題と
のみなえがちな点を改善
し、総合的な質の高い室内
空間を実現するための企画・
設計・監理などを行う技術
者育成をめざしております。
デザインから製作までマス
ターさせることを本科の最
終目標にかかげ、「もの」
を作る創意工夫並びに製造
の学習の中に情報処理教育
を大幅に導入しました。さ
らに工業製品の中に付加価
値を高めるためのデザイン
面の指導を無視し、形態・
色彩等の従来の学習とも
な

価値を得、文部省の調査官並
びに県の指導主事の各先生
方に、各校の指導的立場に
あると講評をいただきました。
資格取得講座については
科独自でトレーニング技能検
定・トレース技能検定・イ
ンテリア設計士のそれぞれ
を課外指導により進めてお
り、多数の生徒が挑戦し合
い、格率も高く将来への進路意
識の高揚にも役立っております。
今年より新たな形とし
て外部講師による集中講座
を四時間二回実施しました。
デザインとは？ フルサイ
ズレンダリングのプロセス
などの講義と、スピードラ
イマール・パステルなど使
用した新しいスケッチ・レ
ンダリング実技を第一線
のデザイナーの方を講師に
お願いし三年生に経験させ
たところ、非常に興味をも
ち熱心に集中していたこと
は本心に計画して良かった
と思っております。講師の先
生の情熱とご苦労に対し感
謝申し上げます。
次に進路面ですが、イン
テリア業界の状況とともに
我々の積極的な職場開拓さ
らには生徒達の目的意識の
高まりにより、希望の生
徒が関連企業を希望し、又
パオニアとして受験した
一流企業が非常に多いのが
今年の特徴です。受験して
二日目の本日現在、どんど
ん合格連絡が入り嬉しさと
ともにこの原稿を書いてお
ります。進学組はインテリ
アデザイン等芸術関連学科
への希望者が多く、ぜひ入
学して欲しいと願っています。
昨年度より「NCルータ」
が導入され、有効利用のた
め学習活動の他地元業界に
役立つ実習を行っておりま
す。「NCルータ」は色彩と形
態の研究及び製作技術の習得
を目標としているが、これ
を「会津漆器考案保護審議
会」での公的認定を進め、
もしく地元業界で利用可能
ならば、生産体制にもって

けるよう、お互い研究を進
め協力したいと考えていま
す。次に現在研究中の「N
Cルータの伝統的技法への
活用」の本校試作品を「会
津漆器新作展」に出品し、
アイデアを提案するつも
りです。加飾技法について
も沈金彫・キンマ技法への
新しい生産方法への提案を
したく思っています。
以上の現状ではありますが
未熟ながらも我々一同、よ
りよい「インテリア科」発
展のため努力する所存であ
りますので先輩同窓各位の
ご指導・ご叱責をいただき
たくお願い申し上げます。

セラミック科

科長 千葉 博

昭和六十一年にセラミッ
ク科を新設して三年になり
ました。（私達科の職員は
窯業科をセラミック科に科
名変更したというところを
念のため申し上げます。）来春三月
にセラミック科第一回生
を社会に送り出すことにな
ります。今日まで教育内容
について大幅な変更を実施
し、幅広いセラミックスの
分野に果立つ生徒が、十分
対応できるような努力して参
りました。即ち微粒子構造
（結晶工学）、粉体工学、
人工原料、情報技術、高温
処理法、新素材の製造、物
理計測、セラミック化学、
等を重点的に取り入れまし
た。我が会津にはセラミッ
クス分野の企業が少なく、
各専門関係に就職する場合
は県外に進出することにな
ります。多様化した斯界の
要請に対応し得る生徒の育
成は、我々に課せられた使
命であると思っております。
従って新しいセラミックスに
関する教育内容を包含した教
育課程が要求されるといま
す。我々は今日まで
日々研鑽を重ね新技術に
関する学習を続けて参りま
した。しかし浅学な私達で
ありますから、今後共先輩
各位の指導と御鞭撻をよろ
しく御願い申し上げる次第
であります。さて全国に窯

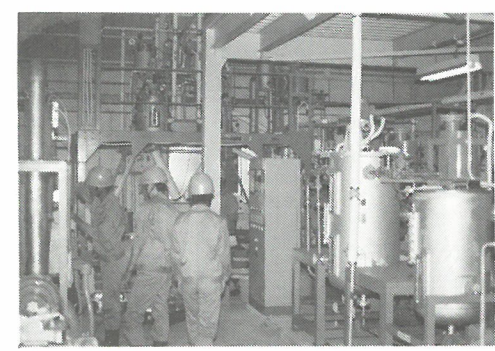
業科設置高校は十校ありま
す。いずれも伝統ある陶磁
器製品の主産地であります。
しかしこれらの高校におき
ましても、いずれも新時代
に対応できる技術者の育成
を目標として、近い将来セ
ラミック科に科名を変更する
動きがあります。我が会津
工業高校は全国に先がけて
セラミック科としましたの
で、会津に続けという声が
全国大会でも数多く聞かれ
るようになりました。
さて、来春三月の卒業生
の就職状況であります。三
年生四十二名中、進学希望
者（四年制大学三名、専門
学校七名、公務員二名、計
十二名）を除き三〇名中八
五％が内定しております。
（九月二十四日現在）い
ずれも第一希望の内定であ
ります。今日の各企業では
セラミック科という声があ
るに、新しいセラミックス
に関する研究開発を手がけ
ております。



K科 実 習 風 景

化学工学科

科長 荒井 忠夫



C科 粉セッケンプラント実習風景

現在、学科に在籍する生
徒は、一年四十三名、二年
四十名、三年四十名で、す
べて男子です。そして、実
習並びに専門教科を担当し
ている専任教師は七名です。
将来、わが国の産業構造
の多様化などに対処するた
め、このような産業構造の
変化、価値感の多様化、
先端技術の進展などで、よ
り大きく変化するといわれ
ております。即ち、資本集
約型の工業社会から知識集
約型の高度情報化社会へと
変化すること考えられてい
るようです。
このような産業構造の変
化や、生徒の能力・適性等
の多様化などに対処するた
め、教育課程審議会は、次
のようになります。
そこで我々は、時の流れ
に遅れぬように、教育課程
の検討、実験・実習におけ
る新領域への進出、施設・
設備の充実と改善を図って
いかなければならないと考
えております。
さて、三年生の進路の件
ですが、昨年は円高不況の
影響等もあって、就職を希
望する者にとっては不運な
年となりましたが、先輩諸
兄のこれまでの実績により
何とか就職先をみつけるこ
とができました。
本年は、内需拡大に伴な
う景気の回復と数年間の求

ておりますので、前途は洋
々たるものがあり、我々職
員一同のしる思いであ
ります。今後より一層の努
力と精進をいたす覚悟であ
ります。学校の設備も少し
ずつ新しいものが導入され
ております。又セラミック
棟（実習室）の新築につ
きましても明るい見通しがあ
り、今後の発展が期待され
るところであります。新入
生の入学希望者も多く、定
員をいつもオーバーしてお
ります。入学者は全員が第
一希望で合格しております。
八月の夏休み中には中学
生の日体験入学が実施さ
れましたが、この際超電導
物質を試作しその物性実験
を公開しました。驚きと多
くの関心が寄せられ、科の
PRに役立った次第であり
ます。
末筆ながら、先輩各位に
おかれましては、暇をみて
学校にお出かけ下さいまし
て、新生セラミック科を御
覧いただければ幸甚に存じ
ます。

人手控えから、県外県内共に求人申込み数は増加しており、人物・力量共に備わっている、希望する会社に入る事ができそう状況です。

*職員動向
松下 俊彦教諭
勿来工業高校へ転出
五十嵐徳昌主任実習講師
喜多方工業高校へ転出
紺野 晋吉教諭
喜多方工業高校より転入
遠藤 喜人主任実習講師
喜多方工業高校より転入

機械科

科長 太田 務

今年度は、昨年度の研究課題であった「メカトロニクス」の指導と、教材の製作および研究の継続と、昨年度導入されました日立精機KKVM40型「マシンングセンター」および自動プログラミング装置の指導のため、教材の研究と制作に全力を挙げて取り組んでおります。従来のNCフライス盤による実習に、マシンングセンターの実習が増える関係上、六十四年度からの実習内容を変更して実施する計画案を検討し、作成中です。

また今年度の資格試験合格者は、非常に成績がよくガス溶接技能講習は一〇〇%、丙種危険物取扱者は九四%、二級ボイラ技士は五四%、と例年にならぬ合格率でした。

進路につきましては、今年度はご承知のように求人依頼企業数も大幅に増加し、要望に応じない状況です。今後在校生の基礎学力の向上と、新しい分野の知識と、技術の修得の指導に努力してまいりますので、先輩各位のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



M科 マシニングセンタ実習

電気科

科長 田辺 精治

外部講師活用事業について

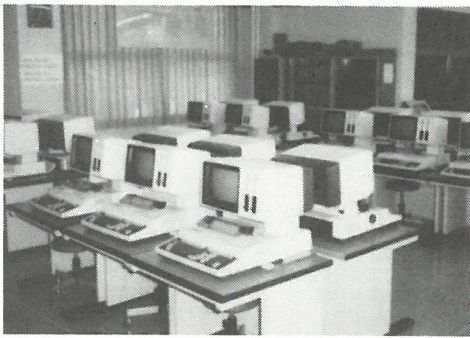
今年度より本県の職業学校において「外部講師活用事業」が実施されることになりました。その目的とするところは、産業界各分野の豊かな経験と見識を有する専門家を講師として招き職業学校に学ぶ生徒に対し産業界の先端知識・技術に触れさせ、学習への興味

電子科

科長 小沼 孝生

本年の行事として、電気・電子・情報技術分科会が、

本校電気・電子科が当番で八月二十二・二十三日の両日センターホテルを会場として「新技術分野の何をどのように取り入れ、どのように指導したらよいか」をテーマのもと、八十数名の先生方が参加し実施された。このテーマは、教育課程基準の改善点としての内容の近代化を図ることの時代の先取りとして、各校の取り組み方が熱心に討議され、先進技術に対応すべく努力されている報告がなされた。



E・D科 コンピュータ実習室

なり、後輩に先輩としての言葉をかけて下さるだけで生徒達にとっては大変励みになります。今年度はすでに電子科と共同で、NTT・東北電力は大変意義があるように思われます。たまたこの事業が予算化されたといっても苦しい教育予算からのやりくりですので、十分な講師手当をさしあげることもできません。県内在住の同窓会諸兄のご厚意にすがりしかならないのが現状で、もし講師のお願いにあがりましては心よくお引き受け下さるようお願いいたします。

先端技術の講義はともかく、母校においてになり、学校の現況をよくごらん

建築科

科長 鷺山 継義

今年度は異常気象といえる日々が続く、めっきり涼しさを感じられ、挨拶に交すようになった。夏休みを過ぎると、例年のことであるが、三年生はあわただしく自分の将来について模索する時期である。新聞等には、就職状況が載っているが、果して生徒はどう受けとめているだろうか。たしかに技術系はよい方向にむいていくもの、かなり厳しいことは確かである。建設産業も経済の状況により影響が大きいだけに、その動向が決め手となるが、今年度は、最近にならぬ多くの求人数があり、生徒にとっては有難いことであろう。

また、学習意欲の向上の一助として、現在行っている県工業部会主催による建築技術検定試験は、六年前より実施していますが、この検定試験には建築科のありる県立・私立が参加し実施している。本校では、毎年二十名前後の生徒が受験し九九%の合格率を占めている。この検定は、入学後三年間の学習を学んだ結果得ると同時に、学習意欲の向上に繋げようとして実施したもので、公には認められないにしろ、かなりの専門



A科 実習風景

会工同窓会総会



●講演●
今日からみた
戊辰戦争
講師 福島県立博物館長
高橋富雄氏

昭和63年10月16日(日)午後1時
●会場/会津若松市東栄町一 梨万花楼 ●会費 5,000円 (新卒者2,000円)

会工祭

今、創造性を求める時。

1988

10月29日(土)30日(日)

福島県立会津工業高等学校

知識が要求されるものであり、また、来年度からは、現在実施されているのが無く、これに似た全国校長会主催による製図検定試験と名のつくのが実施されるが、かなりレベルアップされ、公で認める検定試験となるように聞かれています。いずれにおいても、学力向上をはかる主旨で実施されています。

最後に、例年のことながら、離職者の問題の対策があり、会社選定については細心の指導助言が必要と考えられる。

